

顔の見える木材での快適空間づくり事業

事業実施主体

特定非営利活動法人木の家だいすきの会

【テーマ】ときがわの低温乾燥材・組子・和紙による デザイン性の高い建具の開発と普及

実施体制・連携グループ

背景と目的

【背景】

- ・ときがわ産木材の低温乾燥技術が完成し令和元年より実用化
- ・洋風の生活様式への対応が課題の組子の伝統技術

【目的】

- ・SDGs意識の高いエシカル層向けのデザイン性の高い建具の開発と普及

- 企画開発ワーキング：設計6社、工務店5社、NPO、協同組合、建具、和紙
 - ・NPO木の家だいすきの会：開発コンセプト検討、建具試作ディレクション
 - ・栗原木工所：建具の試作
 - ・手浮き輪氏たにの：自然の恵みを漉き込んだ和紙づくり
 - ・協)彩の森とき川：低温乾燥材の提供
- 外部協力者：プロダクツデザイナー、九州大学清水邦義
 - ・プロダクツデザイナー：洋風の生活様式にあった建具のデザイン提案
- 事務局：NPO木の家だいすきの会

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

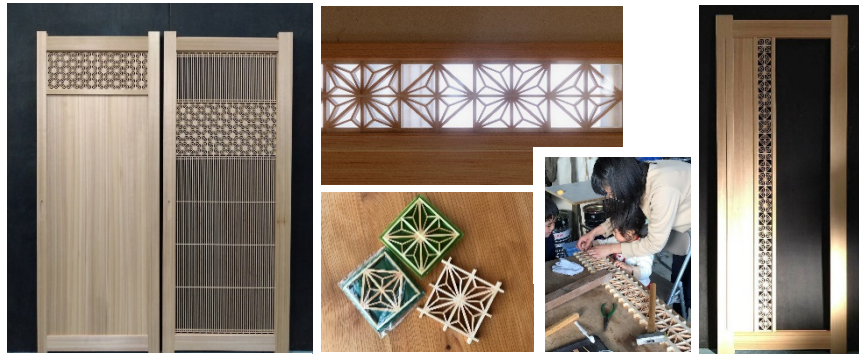
- 健康効果の高い木材の香り成分の漏出が抑えられたときがわ産低温乾燥材の使用(令和2年度成分分析済、九州大学清水研究室委託)
- 地域に継承されてきた組子と和紙の伝統技術を取り込んだ建具づくり
- デザイナーと連携した、洋風の室内環境にもあうデザイン性の高い建具
- DIY消費に対応した住まい手参加型の“only one”のものづくり

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

【実施項目】

- ①企画開発ワーキングの開催
 - ・ワーキングチームを組織し、3回実施
- ②高付加価値建具の企画とデザイン
 - ・SDGs指向の高いエシカル層をターゲットに設定し、開発コンセプトと洋風の室内環境にも合う組子と手漉き和紙を活かした建具のデザインを検討
- ③建具の試作
 - ・低温乾燥材の試験乾燥、組子と和紙を組み込んだ建具の試作(数点)
- ④普及促進活動
 - ・低温乾燥材の健康効果関連情報の収集、パンフレット作成、普及啓発活動
- ⑤報告書の作成
 - ・検討結果のとりまとめ、報告会開催

写真・図等



【普及・活用にあたっての手法・工夫・こだわり】

- ①健康をテーマとして進めてきた「グリーンエア工法開発」の一環として実施
- ②消費者の体験参加により「世界にひとつしかない自分だけのものづくり」の魅力を感じて頂く
- ③アフターコロナの海外観光客回帰を念頭に海外向け情報発信(自主事業)

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

高付加価値建具の企画とデザイン

普及啓発活動

木材の試験乾燥

建具の試作

報告書作成